

石狩の研究活動

研修副部長

恵庭市立恵み野小学校

校長 駒 場 義 剛

1. はじめに

石狩管内小中学校長会は、石狩の地域性を生かした教育の創造を目指し、校長としての職能向上を図る研究活動の活性化に努めている。管内の研究計画に基づき、各市町村で実践的研究を推進すると共に、春季及び秋季学校経営研究会、ブロック校長研修会を開催し、研究主題の解明に取り組んでいる。



2. 研究計画

(1) 研究主題 平成25年度～平成27年度（3か年計画）

「新たな時代を切り開く『生きる力』を育成する学校教育の確立」

～ふるさと石狩で学ぶ喜びを実感できる『知・徳・体』の調和のとれた子どもの育成を目指して～

(2) 研究議題・課題・視点

協議題	課 題	視 点	キーワード
平成25年度 【第1協議題】 保護者、地域の負託に応える教育の推進	①命を守る豊かな心と健やかな体を育む教育課程の管理	ア、自己肯定感を高め、命の大切さを身につけさせる 道徳教育の推進。 イ、不測の事態に備えた、危機管理体制の確立。	自己尊厳 道徳教育 危機管理 防災教育
	②確かな学力を保証する教育課程の管理	ア、9か年を見通した、確かな学力の保証の取組。 イ、新教育課程の実践検証を踏まえた、学力向上の取組。	小中連携 確かな学力
平成26年度 【第2協議題】 教職員の熱意、授業力、人間性を高める研修と学校経営	①学び続ける教職員を育てる研修の推進	ア、コーチングマインドを生かした教職員を育てる OJTの推進。 イ、教職員の意欲を高める、教職員評価の在り方。	職員研修 コーチング 職員評価
	②協働性・機動性を発揮できる組織マネジメントとサービス管理	ア、教職員の特性を生かした、組織マネジメントの在り方。 イ、保護者・地域の信頼に応えるサービス管理の徹底。	組織マネジメント サービス規律
平成27年度 【第3協議題】 ふるさと石狩で学ぶ喜びを実感させる教育課程と、学校評価・学校改善	①地域の教育素材や人材を生かした教育の推進	ア、心を育てる教育素材や地域人材を活用した教育活動の推進。 イ、地域発信する教育活動の推進。	ふるさと教育 活動発信 キャリア教育
	②学校評価を生かした学校改善の在り方	ア、新教育課程の検証と改善の取組。 イ、学校評価の経年変化を基にした学校経営改善の取組。	学校評価 学校改善

3. 今年度の研究活動

(1) 春季学校経営研究協議会（4月）

- 協議題 保護者・地域の負託に応える教育の推進
- 課題① 命を守る豊かな心と健やかな体を育む教育課程の管理
 - 視点ア 自己肯定感を高め、命の大切さを身につけさせる道德教育の推進
 - 視点イ 不測の事態に備えた、危機管理体制の確立
- 分科会提言（小中別の2分科会構成）
 - ・小学校部会 杉本 功（千歳市立緑小学校）
橋本 悟（恵庭市立恵み野旭小学校）
 - ・中学校部会 田中 真路（石狩市立石狩中学校）
浅野 雅文（江別市立中央中学校）

(2) ブロック校長会研修会（9月）

- 協議題 保護者、地域の負託に応える教育の推進
- 千歳・恵庭・北広島ブロック（開催市…千歳市）
 - ・提言 岸 久夫（恵庭市立和光小学校）
吉川 雅樹（北広島市立西の里中学校）
- 江別・新篠津・当別・石狩ブロック（開催市…江別市）
 - ・提言 渡邊 光太郎（当別町立弁華別小学校）
千葉 英一（石狩市立樽川中学校）

(3) 秋季学校経営研究協議会（11月）

- ◇講話（講師）北海道教育庁石狩教育局企画総務課長 青 野 努 氏
（演題）「給与費調査から感じたこと」
- 協議題 保護者、地域の負託に応える教育の推進
- 課題② 確かな学力を保证する教育課程の管理
 - 視点ア 9か年を見通した、確かな学力の保証の取組
 - 視点イ 新教育課程の実践検証を踏まえた、学力向上の取組
- 分科会提言（小中合同、4分科会構成）
 - ・A分科会 北村 安雄（江別市立江別第三中学校）
 - ・B分科会 高森 幸代（千歳市立泉沢小学校）
 - ・C分科会 中川 剛（当別町立当別中学校）
 - ・D分科会 田井 博昭（北広島市立北の台小学校）
- ◇第65回全連小三重大会 参加（提言）報告
 - 報告者 設楽 正敏（石狩市立生振小学校）
 - 研究発表 教育活動全体の見直しと教職員の資質・能力の向上をめざす学校づくりの推進 ～ICTやESDを生かした学校経営の実践から～

4. おわりに

今年度の研究は、保護者・地域の負託に応える学校経営について、実践に基づいた研究交流を深めることができた。各研究協議会で交流された実践内容は、管内小中学校での学校経営に大いに寄与するものになった。また、石狩管内の実践を全連小三重大会で提言することができたことも、今年度の大きな成果となった。

次年度は、3か年計画の2年次目となる。今年度の成果を生かし、道小・道中の研究内容及び道教育長期総合計画、石狩管内学校教育推進計画との関連を図り、新たな課題の解決に向け、取組を進めたい。